



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 ローム株式会社 上場取引所 東
コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名) 松本 功
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 伊野 和英 TEL 075-311-2121
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	120,163	△4.0	17,692	△21.5	28,033	△20.5	20,130	△22.9
2023年3月期第1四半期	125,112	12.5	22,525	47.6	35,261	115.7	26,105	124.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 50,738百万円 (5.2%) 2023年3月期第1四半期 48,231百万円 (444.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	205.12	198.76
2023年3月期第1四半期	266.01	257.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,151,570	956,385	83.0
2023年3月期	1,123,283	915,465	81.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 955,791百万円 2023年3月期 914,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	100.00	-	100.00	200.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	100.00	-	25.00	-

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを予定しております。2024年3月期の1株当たり配当予想につきましては、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間の配当予想につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの年間配当金は1株あたり200円00銭であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	250,000	△3.8	33,000	△34.5	33,500	△52.8	28,000	△46.3	71.32
通期	540,000	6.3	75,000	△18.8	87,000	△20.6	70,000	△12.9	178.31

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを予定しております。上記の1株当たり当期純利益は分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)は285円30銭、通期は713円25銭となります。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	103,000,000 株	2023年3月期	103,000,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	4,857,389 株	2023年3月期	4,857,278 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	98,142,687 株	2023年3月期1Q	98,138,427 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算発表補足資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

※ 補足説明資料としまして、「2024年3月期 第1四半期決算概要」を別途添付しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

業績の全般的概況

当第1四半期連結累計期間における世界情勢は、欧米を中心としたインフレーションの進展に加え、中国における経済活動の回復力が想定より弱いことを受け、景気後退の懸念が継続しております。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車市場では各国の電動車（xEV）の普及促進策や、半導体不足の緩和により自動車の生産台数が回復傾向であることから全体としては順調に推移しました。また、産業機器市場では工場の自動化や生産効率化へのニーズが継続していましたが、世界経済減速の懸念などから設備投資への慎重姿勢が見られ、調整局面となりました。一方、民生機器市場や通信機器市場、コンピュータ&ストレージ市場は需要減速の継続と在庫調整により低迷しました。

このような経営環境の中、中長期的に成長が期待される自動車市場や産業機器市場などに向けてロームグループが強みを持つパワー・アナログの新製品・新技術の開発を進め、お客様の省エネ・小型化に広く貢献できるトータルソリューションでの提案を推進しました。

生産面においても、継続して全社最適化を進めるとともに、「モノづくり改革」による省人化・自動化ラインの構築を推し進めました。また、一部の汎用品で生産調整を行うものの、更なる受注に対応するための生産能力増強や生産性向上を進めるなど、お客様への安定供給体制の向上に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は自動車市場向けが増加したものの、民生機器市場向け、通信機器市場向け及びコンピュータ&ストレージ市場向けを中心に減少し、前年同期比4.0%減の1,201億6千3百万円となりました。営業利益は前年同期比21.5%減の176億9千2百万円となり、当第1四半期連結累計期間の営業利益率は前第1四半期連結累計期間の18.0%から14.7%に低下しました。

経常利益につきましては、営業利益の減少に加え、為替差益の減少により、前年同期比20.5%減の280億3千3百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比22.9%減の201億3千万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第1四半期連結累計期間のEBITDA（※）は前年同期比4.4%減の326億5千9百万円となりました。

※ EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業などの収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

業績のセグメント別概況

<LSI>

市場別では、自動車市場向けで、電動車の普及加速に伴いパワートレイン向けに絶縁ゲートドライバICなどの高付加価値商品が順調に伸びたことに加え、車載向けLEDドライバIC、ADASやxEV向けの電源ICなどが好調でした。一方で、民生機器市場向けでは、AV機器や白物家電向けを中心に減少し、コンピュータ&ストレージ市場ではPC関連やSSD向けの電源ICなどの売上が落ち込みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は541億3千2百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は77億6千8百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

<半導体素子>

事業セグメント別では、トランジスタ、ダイオード、パワーデバイスにつきましては、自動車市場のxEV向けを中心に好調に推移したことに加え、産業機器市場での太陽光発電向けなどが堅調に推移しましたが、民生機器市場やコンピュータ&ストレージ市場向けは厳しい状況となりました。また、発光ダイオード、半導体レーザーにつきましては、民生機器向けを中心に減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は515億8千7百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は77億8千1百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

<モジュール>

事業セグメント別では、プリントヘッドにつきましては、決済端末向けを中心に売上が減少し、オプティカル・モジュールにつきましては、スマートフォン向けでセンサモジュールの売上が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は80億8千6百万円（前年同期比10.0%減）、セグメント利益は4億5千9百万円（前年同期比67.5%減）となりました。

<その他>

事業セグメント別では、抵抗器につきましては、自動車市場向けに高電力抵抗・シャント抵抗等の高信頼品は順調に推移しましたが、産業機器市場向けなどの売上が落ち込みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は63億5千7百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント利益は5億5千8百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ282億8千7百万円増加し、1兆1,515億7千万円となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産が201億6千6百万円、棚卸資産が116億6千万円、投資有価証券が99億4千1百万円、有価証券が96億8千2百万円、受取手形及び売掛金が38億9千7百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が311億9千6百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ126億3千2百万円減少し、1,951億8千5百万円となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が113億4千4百万円、未払金が94億2千9百万円、それぞれ減少した一方、繰延税金負債が44億2千1百万円、固定負債のその他が23億3千9百万円（うち長期未払金が21億8千2百万円）、流動負債のその他が21億8千8百万円（うち設備関係電子記録債務が19億4千1百万円）、それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ409億2千万円増加し、9,563億8千5百万円となりました。主な要因といたしましては、為替換算調整勘定が231億2千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が103億1千5百万円、その他有価証券評価差額金が74億5千6百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.4%から83.0%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、地政学リスクへの警戒、世界的なインフレーションによる金利上昇、加えて不安定な為替相場などにより、依然として先行きが不透明となっております。エレクトロニクス市場においては、気候変動対策や脱炭素化社会に向けた省エネルギー化の一層の促進に加えて、各国における工場の自動化・デジタル化投資などは順調に推移していくものと思われれます。また、民生機器市場、コンピュータ&ストレージ市場は後半から徐々に回復基調へ転じると思われれますが、前半は市場減速による影響が大きく、通期全体では前年に対する伸びは低調になると見込んでおります。このような状況の中ではありますが、自動車市場においては、自動車生産台数の増加、また電動化・電装化が更に促進される見通しであり、注力しているパワー・アナログ製品を中心に採用が拡大し順調に成長していくことを見込んでおります。

現時点では期初に公表した予想数字に対して大きな乖離は出ておりませんが、第2四半期以降のエレクトロニクス市場については各国の動向や半導体の需給状況に引き続き注視する必要があると考えております。

今後、既に公表した業績予想に対する変更が必要と判断される際には、改めて業績予想の修正を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	291,154	259,958
受取手形及び売掛金	100,472	104,369
電子記録債権	9,277	8,275
有価証券	38,093	47,775
商品及び製品	53,779	56,107
仕掛品	79,646	86,189
原材料及び貯蔵品	62,059	64,848
未収還付法人税等	1,884	1,713
その他	17,669	18,849
貸倒引当金	△56	△62
流動資産合計	653,979	648,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	307,833	319,544
機械装置及び運搬具	745,760	782,867
工具、器具及び備品	61,333	63,634
土地	68,285	68,783
建設仮勘定	59,279	64,110
その他	8,780	9,225
減価償却累計額	△887,501	△924,229
有形固定資産合計	363,771	383,937
無形固定資産		
のれん	497	422
その他	5,225	7,684
無形固定資産合計	5,722	8,106
投資その他の資産		
投資有価証券	76,976	86,917
退職給付に係る資産	1,875	1,923
繰延税金資産	7,663	7,907
その他	13,788	15,387
貸倒引当金	△494	△634
投資その他の資産合計	99,810	111,501
固定資産合計	469,303	503,545
資産合計	1,123,283	1,151,570

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,157	15,173
電子記録債務	4,112	3,851
未払金	54,086	44,657
未払法人税等	21,353	10,009
その他	36,196	38,384
流動負債合計	131,907	112,075
固定負債		
社債	40,336	40,286
繰延税金負債	22,539	26,960
退職給付に係る負債	10,819	11,308
その他	2,215	4,554
固定負債合計	75,910	83,109
負債合計	207,817	195,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,416	102,416
利益剰余金	721,151	731,467
自己株式	△39,880	△39,882
株主資本合計	870,656	880,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,007	41,463
為替換算調整勘定	12,149	35,272
退職給付に係る調整累計額	△1,901	△1,915
その他の包括利益累計額合計	44,256	74,820
非支配株主持分	552	593
純資産合計	915,465	956,385
負債純資産合計	1,123,283	1,151,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	125,112	120,163
売上原価	78,811	78,375
売上総利益	46,301	41,787
販売費及び一般管理費	23,775	24,095
営業利益	22,525	17,692
営業外収益		
受取利息	440	1,190
受取配当金	513	453
為替差益	11,142	8,475
その他	703	274
営業外収益合計	12,799	10,394
営業外費用		
支払利息	35	45
和解金	16	—
その他	12	7
営業外費用合計	64	53
経常利益	35,261	28,033
特別利益		
固定資産売却益	269	1,971
特別利益合計	269	1,971
特別損失		
固定資産売却損	25	7
固定資産廃棄損	35	24
減損損失	26	0
投資有価証券評価損	318	—
特別損失合計	405	33
税金等調整前四半期純利益	35,125	29,971
法人税、住民税及び事業税	8,024	8,520
法人税等調整額	985	1,304
法人税等合計	9,009	9,824
四半期純利益	26,115	20,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,105	20,130

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	26,115	20,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,319	7,455
為替換算調整勘定	26,324	23,150
退職給付に係る調整額	110	△14
その他の包括利益合計	22,115	30,591
四半期包括利益	48,231	50,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,200	50,695
非支配株主に係る四半期包括利益	30	43

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（税金費用の計算方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び国内連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	17,899	14,123	1,900	33,924	1,141	35,065	—	35,065
アジア	32,542	30,314	5,922	68,779	5,093	73,872	—	73,872
アメリカ	2,233	2,441	352	5,027	687	5,714	—	5,714
ヨーロッパ	2,063	6,774	807	9,645	812	10,458	—	10,458
顧客との契約から 生じる収益	54,739	53,654	8,983	117,376	7,735	125,112	—	125,112
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	54,739	53,654	8,983	117,376	7,735	125,112	—	125,112
セグメント間の 内部売上高又は振替高	697	887	—	1,585	14	1,599	△1,599	—
計	55,437	54,542	8,983	118,962	7,749	126,712	△1,599	125,112
セグメント利益	10,617	8,934	1,416	20,968	1,372	22,340	185	22,525

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額185百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△200百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）385百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	21,233	15,088	2,029	38,350	1,001	39,351	—	39,351
アジア	27,794	26,655	4,968	59,418	3,008	62,427	—	62,427
アメリカ	2,738	2,746	341	5,826	1,379	7,205	—	7,205
ヨーロッパ	2,366	7,097	746	10,210	968	11,179	—	11,179
顧客との契約から 生じる収益	54,132	51,587	8,086	113,805	6,357	120,163	—	120,163
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	54,132	51,587	8,086	113,805	6,357	120,163	—	120,163
セグメント間の 内部売上高又は振替高	669	1,341	16	2,028	18	2,046	△2,046	—
計	54,801	52,929	8,103	115,833	6,375	122,209	△2,046	120,163
セグメント利益	7,768	7,781	459	16,009	558	16,568	1,124	17,692

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,124百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△62百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）1,186百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ローム株式会社 2024年3月期 第1四半期決算概要
(2023年4月1日から2023年6月30日まで)

2023年8月1日

連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		24/3期実績		23/3期実績		対前年同期増減		23/3期実績	24/3期計画 (注)1, 2		
		第1四半期 累計期間	第1四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率	第2四半期 累計期間	対前年同期 増減率	
売上高	百万円	120,163	125,112	-4,949	-4.0%	507,882	540,000	+6.3%	250,000	-3.8%	
売上原価	百万円	78,375	78,811	-436	-0.6%	314,220	360,000		166,000		
販売費及び一般管理費	百万円	24,095	23,775	+320	+1.3%	101,344	105,000		51,000		
営業利益	百万円	17,692 (14.7%)	22,525 (18.0%)	-4,833 (-3.3%)	-21.5%	92,316 (18.2%)	75,000 (13.9%)	-18.8%	33,000 (13.2%)	-34.5%	
経常利益	百万円	28,033 (23.3%)	35,261 (28.2%)	-7,228 (-4.9%)	-20.5%	109,530 (21.6%)	87,000 (16.1%)	-20.6%	33,500 (13.4%)	-52.8%	
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	20,130 (16.8%)	26,105 (20.9%)	-5,975 (-4.1%)	-22.9%	80,375 (15.8%)	70,000 (13.0%)	-12.9%	28,000 (11.2%)	-46.3%	
()内は売上高比率											
1株当たり四半期(当期)純利益	円	205.12	266.01	-60.89	-22.9%	818.65	178.31		71.32		
自己資本当期純利益率	%						9.2				
総資産当期純利益率	%						7.5				
1株当たり純資産	円	9,738.81	8,938.62	+800.19	+9.0%	9,321.95					
E B I T D A (注)3	百万円	32,659	34,151	-1,492	-4.4%	148,456	159,000	+7.1%	67,500	-10.3%	
設備投資額	百万円	29,128	22,079	+7,049	+31.9%	126,116	160,000	+26.9%	63,500	+29.2%	
減価償却額	百万円	14,967	11,625	+3,342	+28.7%	56,140	84,000	+49.6%	34,500	+38.8%	
研究開発費	百万円	10,150	9,574	+576	+6.0%	42,560	46,500	+9.3%	22,000	+10.6%	
為替差損益	百万円	(益)8,475	(益)11,142	(損)2,667		(益)11,387					
グループ従業員数	人	23,902	23,914	-12	-0.1%	23,754					
為替レート(US\$期中平均レート) 円/US\$		138.11	129.04	+9.07	+7.0%	134.95	130.27		130.50		

(注) 1. 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行うことを予定しております。上記の1株当たり四半期(当期)純利益は分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり四半期(当期)純利益は、通期は713円25銭、第2四半期累計期間は285円30銭となります。

3. 営業利益に減価償却費を加えて算出しております。